

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	昨年度も夜勤者が不足していると問題点を挙げたのですが、一時的に充足はしましたが、また不足となって既存の職員に負担がかかっています。	余裕のある人員配置で適正な夜勤回数に改善し、無理をしないように働いてもらいたい。	フェンスにスタッフ募集を貼る。ハローワークの募集、就職説明会に参加する。知り合いに紹介の声掛けをする。	3ヶ月
2	2	仕事の出来るスタッフと出来ていないスタッフの差があり、出来るスタッフの不満となる。日頃の業務が出来ていても、利用者様に対するレク活動が出来るか出来ないかも個人差がある。	全体のレベルアップを図り、介護の知識を計ると同時にレク活動の重要性も理解してもらう。	月に1回以上の勉強会を開催する。特に認知症ケアについては専門知識を身につける。レクについての勉強会も実施する。出席できないスタッフには資料を配布し、確認してもらう。	6ヶ月
3	3	利用者様の、筋力の低下やレベルの低下がある。	加齢と共にありますが、急速に進まないようにする。	日中、できるだけリビングで過ごして頂き、体操をしたり、レク活動や、散歩、食器拭きや洗濯たたみなどをして頂く。会話の機会を増やす。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。